

会報15号発刊に寄せて

副会長 T/T

今年の冬は例年になく暖かく、この原稿を書いている1月も半ばを過ぎようというのにほとんど雪を見ることがなく、このようなことは今まで記憶にないことです。特に1月に入り好天気が続き、春を待ちきれず近くの山でトレーニングに励んでいる会員の方も多いのではないでしょうか。

さて、平成16年度の山行記録が広報部の方々のご努力と皆様のご協力で会報15号として発刊することができました。

16年度の会員の山行参加状態を見てみますと、参加者数が約700名と例年に比べ大幅に減少しております。原因としてはいろいろ考えられますが、会も発足以来10年を超え、時代の変化もあり、ある曲がり角に来ているのではないかと考えられます。

会役員が、会員のニーズの把握、魅力ある山行計画の開発など今後会の進むべき方向と対策を真剣に検討することはもちろんですが、会員の皆様方の建設的な提言や協力をお願いしたいところであります。

会の知名度も上がり、新津地区在住者なら誰でも気軽に入会でき、中高年齢者の健康づくり、仲間づくりの為にも地域にとり、なくてはならない会としてこれからも永く続けていくには、会員全員が自分たちの会であるとの認識を持ち続け、積極的に行動されることを願っております。

